

Q4

なぜHibワクチンは生後2カ月からの接種が可能で、できるだけ早い時期の接種が疾患を予防するために必要だといわれているのですか？

A

感染症発生動向調査によると、Hibが原因として報告された細菌性髄膜炎患者の年齢分布は0歳が53%と最も多く、0～1歳で70%以上を占めました。報告は0歳後半に多く、ピークは生後9カ月で、5歳以上では極めてまれでした。このことから、できれば、生後6カ月までに免疫を獲得しておくことが望ましいと考えます。